



さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立152年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」

重点目標「認め合い、伝え合う子」

文責 小川

後期学校評価を終えて



日頃より桑村小学校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。また、12月には、学校評価アンケートへのご協力をありがとうございました。

学校では、児童、保護者、教職員によるアンケート結果をもとに、次年度に向けてよりよい学校をめざしていくための話し合いを行いました。1月に行った第3回学校応援団会議（学校関係者評価委員会）において、学校応援団の皆様、貴重なご意見やご助言をいただきました。それらを抜粋して報告いたします。

※評価について AとBの百分率の合計が90%以上→◎、80%以上→○、60%以上→△、60%未満→×
 赤字…前期より5%以上向上、グレー…前期より5%以上低下

☆ ☆ ☆ 令和7年度 後期アンケート結果と考察 ☆ ☆ ☆

函南スタンダード		児童		保護者		学校	
1	進んであいさつをする	92.6	◎	83.1	○	80.0	○
2	めあてをもって、挑戦し続ける	98.5	◎	86.4	○	80.0	○
3	運動、音楽、芸術、行事など、夢中になって取り組めることがある	98.5	◎	96.6	◎	100	◎
4	読書を楽しむ	86.8	○	59.3	×	90.0	○
5	ふるさと「桑村」のよさを知る	95.6	◎	100	◎	100	◎

【函南スタンダードについて】 「読書を楽しむ」について、家庭には“即時の刺激”を与えられる様々なメディアがある中で、子供たちにとっては、自分で想像し、地道に読み進めることが求められる“静かでゆっくりした楽しみ”の読書を選択する難しさがあると思います。そんな中で、学校では毎日10分以上の読書時間を確保するだけでなく、学校司書を中心に図書室への来室を促すイベントを設定したり、マルベリーさんに読み聞かせをしてもらったりと、本と子供たちをつなげるような工夫をしているところです。また、毎週木曜日に「親子読書の日」を設定し、本を手にするのを習慣化できるように目指しています。ご家庭でも、お子さんが読んでいる本を話題にしたり、ご自身が子供時代に読んだ本を紹介したりするなど、本と結び付ける働きかけをしてみてください。今後も、豊かな感性を育むために読書活動を推進していきます。

つきたい資質・能力		児童		保護者		学校	
1	桑村小のよさを感じている	95.6	◎	100	◎	100	◎
2	聴き・話すことを大切に学校生活を送っている	97.1	◎	81.4	○	60.0	△
3	自分の思いを大切に授業に取り組んでいる	88.2	○	96.6	◎	100	◎
4	自分と相手を大切にしていりより良く行動している	98.5	◎	94.9	◎	50.0	×

【つきたい資質・能力について】 学校で子供たちと関わっていると、相手の話を最後まで聴かずに遮って自分の話を始める姿が見受けられます。自分の思いや考えを話したい気持ちをもっていることの価値を認めつつも、同じように「聴いてほしい思いをもった相手」の立場も尊重できる子になってほしいと考えます。形式的な姿勢等の指導だけではなく、従来の「答えを探す授業」から「答えをつくる授業」に授業改善していくことで、「聴く・話す」必要感を生み出したいと考えています。

児童の様子（学習面）		児童		保護者		学校	
1	学習内容を理解	94.1	◎	91.5	◎	80.0	○
2	家庭学習の定着	97.1	◎	89.8	○	80.0	○
3	わかる・楽しい授業づくり	91.2	◎			100	◎

【児童の様子（学習面）について】

教育活動の中心である授業を子供たちが楽しいと感じるために、子供の姿を見取る職員研修を進めていきます。

児童の様子（生活面）		児童		保護者		学校	
1	学校は楽しい	91.2	◎	100	◎	100	◎
2	みんなのために働く	95.6	◎			100	◎
3	縦割り遊びは楽しい	97.1	◎			90.0	◎
4	健診後の受診（受診中）			96.6	◎		
5	安全な生活・登下校	94.1	◎	96.6	◎	60.0	△

【児童の様子（生活面）について】

前期に低かった「学校は楽しい」の評価が向上しています。今後も児童一人一人に寄り添いながら楽しい桑村小学校をつくっていききたいと思います。

【学校関係者評価委員会を受けて】 前期の結果から「学校は楽しい」が気になっていたため、向上したことに安心した。前期の結果を受けて、行事や学習活動を各立場から支えてもらってきた成果が伝わったのではないかと。「安全な生活・登下校」についても、木の倒木等で通行が難しい場合があれば、力を出し合って、できることはやっていく。困ったことがあれば、まずは声をあげていただきたい。

学校（先生）の様子		児童		保護者		学校	
1	よいことは認め、悪いことはその場で指導・助言をしている	98.5	◎	98.3	◎	100	◎
2	地域・保護者との連携	97.1	◎	98.3	◎	100	◎
3	親身になった対応（学校への信頼感）	98.5	◎	91.5	◎	100	◎
4	学校の様子を伝える（おたより、HP等）	95.6	◎	89.8	○	100	◎



【学校（先生）の様子について】 「地域・保護者との連携」では、依然として高い評価となっています。これも保護者の皆様・地域の方々のおかげです。ありがとうございます。PTA組織を改編し、運動会や奉仕作業等の桑村小の教育活動にも、今まで以上に保護者の皆様・地域の方々に参画していただいた一年間でした。今後ともよろしくお願いいたします。

「学校の様子を伝える」については、児童の評価が前期よりも向上しています。学校便り、PTA活動の募集、各学年の学習活動の様子など、HPに随時アップをしております。学校での取組や子供たちの様子を知らせることで、引き続き連携をはかっていききたいと思います。子供には難しい文体もありますので、ぜひお子さんと一緒にお便りを読み、HPもご覧いただきたいです。

チーム担任について		児童		保護者		学校	
1	自分は、いろいろな先生たちとかわっていると思う。	94.1	◎	93.2	◎	100	◎
2	チーム担任と連携しながら一貫した教育活動を行えた					90.0	◎
3	チーム担任で指導することで、学級担任の場合より子供についての理解が進んだ					80.0	○
4	先生たちは、自分のよいところを認めてくれようとする。	98.5	◎	94.9	◎		
5	教科担任制は、よいと思う	95.6	◎	93.2	◎	80.0	○
6	担任の先生が3人になって、困ったときや悩んだときに頼ることができる先生が増えたと思う。	94.1	◎				

【チーム担任について】 チーム担任制については、日々の生活として行っている子供たちにとっては「当たり前」になってきていることが結果から伺えます。「いろいろな先生たちと関わっている」や「よいところを認められる」の数値が高いのも、多角的な視点によって、子供の「認められるポイント」も幅広くなったチーム担任制の効果であると考えられます。一人の教職員が個に関わる時間は3分の1になった分、3ヶ年の発達段階の違いやチーム担任2人からの視点や情報にも触れることで、俯瞰的に「子供理解」を深める機会に恵まれているため、専門性の向上につなげていきたいと考えています。



桑村小学校を応援して下さる地域、保護者の皆様のご支援に応えることができるよう、「チームくわっち」で取り組んでいきます。今後も、よろしくお願いいたします。